

科目名	管弦打楽器概論		担当教員	悪原 至	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED2MIM409
期待される学修成果	基礎教養 教科教育				
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク				
実務経験	演奏家、打楽器奏者				
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	オーケストラや教育現場において用いられる楽器についての全般的な知識を身につけ、説明できるようになる。				
授業の概要	管弦楽に使用される管楽器・弦楽器・打楽器について各楽器の基本原理をはじめ、歴史的背景、形状、演奏方法、構造などを学ぶ。打楽器に関しては簡単なアンサンブルに取り組み、実際に楽器を用いて実践しながら奏法を学ぶ機会を設ける。				

授業計画	
第1回	倍音・楽器分類について
第2回	木管楽器① フルート・ピッコロ
第3回	木管楽器② オーボエ・ファゴット
第4回	木管楽器③ クラリネット
第5回	木管楽器④ サクソフォーン
第6回	金管楽器① トランペット
第7回	金管楽器② ホルン・トロンボーン
第8回	金管楽器③ ユーフォニアム・チューバ
第9回	弦楽器①ヴァイオリン・ヴィオラ
第10回	弦楽器② チェロ・コントラバス
第11回	打楽器① オーケストラで用いられる打楽器
第12回	打楽器② 世界各地の打楽器
第13回	打楽器の実践 奏法の確認 譜読み
第14回	打楽器の実践 アンサンブル練習
第15回	打楽器の実践 まとめ

事前学修	2時間	教科書の内容を一読し、不明な点を質問できるようにする。
事後学修	2時間	授業内容を整理し、レポート課題の準備を進める。
フィードバックの方法	レポート課題の返却時にコメントを加える。	

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	70%	レポート課題において、授業の内容を十分に理解できているか評価する。
上記以外の試験・平常点評価	30%	受講態度、授業に対する意欲などを総合的に評価する。
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
はじめてのオーケストラ・スコア スコアの読み方ハンドブック	野本由紀夫	音楽之友社	978-4-276-10142-5	無
参考資料				